

分野別計画に対する答申（案）に関連する意見（第2部会）

大項目	小項目	関係する意見
1 分野共通	(1) 行政だけではなく、多様な主体との連携・協働に関する視点を記述すること。	福祉に係る様々な機関の連携強化について記載(成田委員)
		地域課題の解決に民間の創意工夫を活用すべき(下河原委員)
		行政主導だけでなく、多様な団体をつなぐことで地域課題を解決する取組みを進めるべき(小川委員)
	(2) 多様な主体が集まり、交流できる場に関する視点を記述すること。	地域での支え合い活動のための場所が必要(長岡副部会長)
		高齢者だけでなく、多世代が交流できるスペースを設けるべき(中島委員)
		子どもの居場所として公民館の活用を検討(長岡副部会長)
	(3) 政策・施策・主な取組みについて、それぞれのつながりや目的等を踏まえ、記載順を含めて検討すること。	分野の並び順を検討(角田委員)
		分野4-政策1-施策2の主な取組みについて、優先順位に基づいた記載順を検討(貞広委員)
	(4) 主な取組みについては、具体的に例示するなど、市民がイメージできるよう留意すること。	「パーソナルヘルスレコード」等の取組みのイメージが分かるよう補足(角田委員)
		「介護予防の促進」の具体例を記載(角田委員)
		療育支援体制の一層の充実が求められている背景を記載(菊地委員)
	(5) 市の取組みが市民にわかりやすく伝わるよう効果的な周知方法を検討すること。	市民に必要な情報が周知されているか検証(若狭委員)
		保育に関する制度について、必要な情報が伝わるよう市民目線での周知を(小川委員)
	(6) 平易かつ適切な文章を用い、市民にとってわかりやすい記述とすること。	分野3-政策2のリード文において、適切な表現をすべき(中島委員)
		分野3-政策2-施策2の「ケアラー支援」について、市民に一般的な用語を用いるべき(中島委員)
		「農福連携」について、農業以外での社会参画を踏まえた記述を検討(菊地委員)
		分野3-政策4のリード文について、他の政策と体制を整えるべき(中島委員)
		分野4-政策2-施策4の「アフタースクール拡充は、質と量のどちらか。(岩崎部会長)
		未来を切り拓いていく子どもたちに向けたメッセージを盛り込むべき(江波戸委員)

分野別計画に対する答申（案）に関連する意見（第2部会）

大項目	小項目	関係する意見
1 分野 共通	(7) 実施計画や今後の事業展開において、政策の実現に資する具体的な取組みを検討すること。	千葉市の特性である職住近接に関する施策等を記載（中島委員）
		各区に関する施策等を記載（中島委員）
		充実した医療提供体制の継続とその周知（斎藤委員）
		高齢者が地域団体にどこまで参画する想定かを明確化（和田委員）
		あんしんケアセンターへの支援の充実を検討すること（鍋木委員）
		あんしんケアセンターが必要な場所に適切に配置できるよう検討すること（長岡副部会長）
		介護人材の確保に向けた独自の取組みを記載（菊地委員）
		「障害者基幹相談支援センター」が行う支援を記載（成田委員）
		ソフト面に加え、ハード面のバリアフリー化の継続についても追記（添田委員）
		パラアスリートの意見を踏まえ、共生社会実現に向けた「体験」の次の段階の取組みを検討（添田委員）
		民間保育園の老朽化への対応を（大森委員）
		民間保育園の突然の閉園に備えた公立保育所の活用の検討（大森委員）
		保育施設の定員割れ対策や突然の閉園に備えた検討及び協議（大森委員）
		ヤングケアラーの支援に加え、早期発見にも注力を（鍋木委員）
		分野4－政策2において、市立高校を念頭に置いた施策を記載（菊地委員）
		子どもに対する災害医療や救急医療に関する学習機会の提供（斎藤委員）
		LGBTや性について理解を深める教育の実施（林委員）
		生と死について学ぶ教育の実施（林委員）
		幅広い年代におけるキャリア教育などの実施（中島委員）
		SNSによるいじめへの対応を追記（仙波委員）
市民活動における新庁舎の活用を検討（若狭委員）		
外国人の言語、文化・習慣の違いを考慮し、共生に向けた取組みを追記（柿沼委員）		
外国人の言語、文化・習慣の違いを考慮し、様々な団体と連携しながら支援を行うべき（柿沼委員）		

分野別計画に対する答申（案）に関連する意見（第2部会）

大項目	小項目	関係する意見
1 分野 共通	（7）実施計画や今後の事業展開において、政策の実現に資する具体的な取組みを検討すること。	市民が主体となり、新たな仲間と新たな活動を始めるための支援を追記（中島委員）
		公民館等の講座の受講者が、その成果を活用できる機会を充実（仙波委員）
		地域社会において、大学や専門学校との連携を進めるべき（中島委員）
		千葉市の独自性を出したアーティストの育成・支援を検討（林委員）
		パブリックアートに関する記載の検討（菊池委員）
		加曽利貝塚を世界に広めるための取組みを充実（和田委員）
		千葉市がメッカとなるスポーツの創出（中島委員）
		eスポーツの成長に向けた取組みの充実（中島委員）
		障害を持つ高齢者の交通手段の確保（高山委員）
		高齢者向けのスポーツ施設の充実（和田委員）
2 分野 3 「健康・福祉」	（1）全般事項について	
	ア 誰もが健康で活躍できる社会は、肉体的、精神的、社会的に満たされた状態（well-being）の実現に資するという視点を記述すること。	分野目標にwell-beingを追記（菊地委員）
	（2）政策1「健やかに暮らせる社会を創る」について	
	ア 施策2「医療提供体制の充実」について	
	（ア）かかりつけ医とともに、かかりつけ歯科医やかかりつけ薬局などの普及・啓発に関する記述を追加すること。	かかりつけ薬剤師（薬局）に係る追記（市橋委員） 健康な方もかかりつけ医・かかりつけ薬剤師（薬局）を持つよう取組みを追記（市橋委員、鏑木委員）
	イ 施策3「安全・安心な生活衛生環境の整備」について	
	（ア）新型コロナウイルス等の感染症リスクの増大を踏まえ、新たな感染症対策に関する記述を追加すること。	新たな感染症対策に関する施策を検討（中島委員）
	（イ）高齢化の一層の進展を踏まえ、墓地・斎園環境の整備に関する記述を充実すること。	少子多死社会に向け墓地・斎園の重要性を補足（菊地委員）

分野別計画に対する答申（案）に関連する意見（第2部会）

大項目	小項目	関係する意見
2 分野3 「健康・福祉」	(3) 政策2「高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る」について	
	ア 施策1「生きがいがづくりと社会参加の促進」について	
	(ア) 高齢者が培ってきた経験やノウハウを発揮する機会や場に関する記述を追加すること。	高齢者の経験やノウハウを次世代に伝え発信する機会の提供について追記(梅澤委員)
	(イ) 高齢者の生きがいがづくりの観点から、学習機会の提供に関する記述を追加すること。	「学習機会の提供」の主目的は本人の生きがいがづくり(菊地委員)
		「学習機会の提供」の例示は、個人の観点から「生活や地域に役立つ講座など」に修正(岩崎部会長)
	イ 施策2「地域で安心して暮らせる環境の整備」について	
	(ア) 高齢化の一層の進展を踏まえ、終末医療ケアに関する記述を追加すること。	アドバンス・ケア・プランニングの周知・啓発と、医療・介護の相談員の育成を追記(下河原委員)
3 分野4 「子ども・教育」	(4) 政策3「障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る」	
	ア 施策1「障害のある方への理解促進と社会参加の促進」について	
	(ア) 障害の特性に関する理解など、障害のある方への一層の理解促進に関する記述を充実すること。	障害者の外出を支援する施設・制度の周知(高山委員)
	イ 施策3「障害のある子どもとその家族への支援の充実」について	
(ア) 障害のある子どもへの切れ目ない支援に関する記述を追加すること。	支援が「発達障害」のみならず知的障害も対象としていることを明確化(成田委員)	
	「発達障害の支援」について、ライフステージに応じた切れ目ない支援を行うこと(成田委員)	
3 分野4 「子ども・教育」	(1) 政策1「子どもを産み・育てやすい環境を創る」について	
	ア 施策1「妊娠から子育て期までの支援の充実」について	
	(ア) 不妊症や不育症などに対する支援や啓発について記述を追加すること。	不妊治療に関する市民への普及・啓発(市橋委員)
		里親制度など、不妊・不育に悩んでいる方への多様な選択肢の普及・啓発(市橋委員)
イ 施策2「子育てしやすい保育環境の充実」について		
(ア) 民間保育園だけでなく、公立保育所も含めた保育需要への対応に関する記述を追加すること。	公立保育所を含めた保育需要への対応を追記(大森委員)	

分野別計画に対する答申（案）に関連する意見（第2部会）

大項目	小項目	関係する意見
3 分野4 「子ども・教育」	(2) 政策2「自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する」について	
	ア 子ども個性や自由な発想を養い、発揮する視点を記述すること。	子どもたちの個性が発揮できる場の確保（梅澤委員）
		アントレプレナーシップ教育に関する記載を追記（梅澤委員）
		子どもたちが自由な発想で挑戦することができる教育の実施（林委員）
	イ 施策1「未来につながる学びの充実」について	
	(ア) 市の地域資源などを活用した教育に関する記述を追加すること。	千葉県を知ることができる教育の実施（斎藤委員）
		子ども達に千葉市の魅力が伝わる教育の実施（仙波委員）
	(イ) 子どもが多様性を身近に感じられる機会の創出など、インクルーシブ教育に関する記述を充実すること。	特別支援学校と通常学級との通級に関する取組みを追記。（成田委員）
		身近にダイバーシティが体感できる場の必要性（下河原委員）
	ウ 施策2「学びを支える教育環境の充実」について	
	(ア) 「地域とともにある学校」の実現に向け、地域と学校の連携に関する記述を充実すること。	地域とともにある学校に関する内容を追記（貞広委員）
	(イ) 質の高い教職員の育成に関する記述を充実すること。	教職員の職能開発とそれを保障する取組みの追記（貞広委員）
(ウ) 教職員の働き方の見直しに関する記述を追加すること。	教職員の働き方に関する取組みの追記（長岡副部長）	
エ 施策5「子ども・若者が社会で考え、行動する力の育成」について		
(ア) 子ども地域課題への意識の喚起や地域活動への参画に関する記述を追加すること。	地域課題を意識する教育の実施（岩崎部長）	
4 分野5 「地域社会」	(1) 政策1「誰もが個性を活かして活躍できる環境を創る」について	
	ア 多様性を活かしたインクルーシブな社会の実現に向け、性別役割分担意識が固定化されることのないよう、施策の構成や記述内容を見直すこと。	分野5－政策1－施策2の位置づけが分かりにくいため、丁寧な説明が必要（菊地委員）
		分野5の施策1と施策2の施策間のつながりが分かりにくいため、記述を検討すべき（貞広委員）
		分野5－政策1－施策2の名称及び記述を政策の目的に合わせ見直すべき（岩崎部長）
		分野5－政策1－施策2の名称をインクルーシブの観点から見直すべき（添田委員）
		地域社会における男女参画の格差を考慮し、女性参画の取組みを充実すべき（仙波委員）

分野別計画に対する答申（案）に関連する意見（第2部会）

大項目	小項目	関係する意見
4 分野5 「地域社会」	イ 施策3「多文化共生社会の実現」について	
	（ア）海外都市との協力・連携に関する記述を追加すること。	姉妹都市との交流だけでなく、協力・連携を推進すべき（菊地委員）
	（イ）複数の国や地域に共通する課題を理解し対応を図る、グローバルな視点に関する記述を追加すること。	国や地域に共通した課題の理解とその対応というグローバル視点を盛り込むべき（菊地委員）
	（2）政策2「多様な主体の連携によるまちづくりを進める」について	
	ア 市民が主体的にまちづくりに関わるきっかけとなる取組みに関する記述を追加すること。	市民が当事者意識を持ち、主体的にまちづくりに関与できる仕掛けを検討すべき（貞広委員）
	イ 施策1「持続可能な市民主体のまちづくりの推進」について	
	（ア）地域の重要な担い手である町内自治会の活性化に関する記述を追加すること。	地域社会を支える基本となる町内自治会の支援を検討すべき（長岡副部会長） 自治会活動に多様な住民が参加できる支援を追記（中島委員）
5 分野6 「文化・スポーツ」	（1）政策1「文化・芸術が生まれ、広がる環境を創る」について	
	ア 文化・芸術に触れ、親しむことにより、想像力が豊かになる視点を追加すること。	思考過程を含めた、アーティストの活動の幅広い分野への活用（林委員） アートの想像性を高める力について記載を追加（梅澤委員）
	イ 地域の活性化に向け、文化・芸術をまちづくりの幅広い分野で活用することに関する記述を充実すること。	地域の活性化や教育の振興に文化・スポーツを活用（林委員）
	ウ 施策1「文化・芸術活動の創出と支援」について	
	（ア）教育分野における文化・芸術に触れる機会の充実に関する記述を追加すること。	学校教育における市の文化施設の活用（岩崎部会長） 日常的にアーティストに触れる機会の創出（若狭委員）
	（2）政策2「スポーツに親しむ環境を創る」について	
	ア 施策2「スポーツを核とした地域の活性化」について	
	（ア）プロスポーツに日常的に親しむことができる環境の創出に関する記述を追加すること。	プロスポーツを身近に体験できるイベント等の充実（中島委員）